

# 国立精神・神経医療研究センター病院 薬剤部

## 精神科薬剤師レジデントプログラム概要

レジデントプログラムでは精神疾患を有する患者に対して、より専門的なアプローチができる精神科領域に精通した専門性の高い知識・技術を習得した薬剤師の育成を目的とします。到達目標は「精神科薬物療法認定薬剤師」の取得とし、研修期間内において資格取得に必要な要件を満たすためのカリキュラムとなります。キャリアアップを目指したい方は是非ご応募ください

レジデント 研修期間：3年間

### 研修概要

#### 【初期研修】1年目

- (1) 医療人として必要となる基礎的な知識の習得
- (2) 病院薬剤師としての基本的な技術および知識の習得（薬剤業務研修）  
新人薬剤師教育研修プログラムを活用し、処方監査、調剤・注射業務および監査・製剤業務、注射混合調剤、在庫管理、医薬品情報管理等を実践形式で習得
- (3) 病棟薬剤師としてのスキルを習得（病棟業務研修）  
専門領域以外（小児神経、神経内科等）の病棟において、新人薬剤師教育研修プログラムを活用し、患者情報及び持参薬の確認及び評価、薬剤管理指導業務、病棟薬剤業務、チーム医療等を実践することで病棟薬剤師として必要なスキルを習得（領域ごとに代表的な疾患について100時間相当で履修）

#### 【専門研修】2-3年目

認定薬剤師の指導のもと精神科病棟において知識の習得と臨床経験を積み、同時に認定資格「精神科薬物療法認定薬剤師」の取得に必要な要件（単位取得および症例収集）を満たすためのカリキュラムとなります

- (1) 精神疾患の病態と患者特性を理解
- (2) 精神疾患に使用される薬剤の種類と特徴を理解
- (3) 薬剤による副作用の予測及びその解決方法を理解
- (4) 精神疾患の主要な疾患や症状における薬物療法に対するアプローチ
- (5) 精神保健福祉法、薬物治療以外の治療を理解
- (6) 精神科病棟において対象となる精神疾患に対する臨床経験および症例収集  
複数の精神疾患、該当薬剤による薬物療法（各2症例以上、30症例以上を収集）
- (7) 症例報告（報告会において症例に対する評価と分析）
- (8) 認定資格に必要な単位取得  
日本病院薬剤師会 病院薬学認定薬剤師制度 50単位以上、日本病院薬剤師会 精神科薬物療法認定薬剤師 20単位以上を取得
- (9) 学会発表、臨床研究へのアプローチ  
※ 研修修了後の5-6月に、日本病院薬剤師会 病院薬学認定薬剤師認定試験、精神疾患患者に対する指導実績を30症例以上登録に合格することで資格取得  
※ カリキュラム詳細は「問い合わせ先」に連絡してご確認ください  
※ 採用情報は病院HPをご確認ください

問 合 せ 先 薬剤師レジデントに関する説明、見学、出願方法等は以下にご連絡ください  
〒187-8551 東京都小平市小川東町4-1-1  
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院 薬剤部  
TEL 042-341-2711（代表）